

【土質基礎研究委員会 地盤防災分科会 現場視察報告書】

1 現場視察場所・行程

- (1) 場所：厚真町幌内川土砂ダム（北海道胆振東部地震被災箇所）
- (2) 日時：2019年12月13日、12：30～18：00

2 現場説明者・参加者

- (1) 説明者：北海道胆振総合振興局室蘭建設管理部 苫小牧出張所 塩田 所長（前分科会員）
- (2) 参加者：石川，小原，鈴木，所，林，山木（五十音順 敬称略）

3 災害の概要と視察箇所

3.1 被災概要

2018年9月6日に発生した北海道胆振東部地震により、厚真町を流れる厚真川支流の日高幌内川右岸の尾根斜面が長さ800m、幅400mの土砂が350m川側に移動したことにより河道閉塞が発生した。

3.2 視察箇所

日高幌内川災害の復旧は、土砂ダムにより発生した湖の排水を行い、埋め立てをして河道の復元を行うものである。土砂運搬用の仮設道路を新設し、地震により発生した土砂が置かれているヤードから土砂（330万 m^3 ）を運搬し、土砂ダム湖の埋め立てを行う。湖内水のポンプによる排水と土砂運搬状況を視察した。



写真1 被災箇所の現状



写真2 側面からみた崩壊箇所

（文責 北海学園大学 所）